

土地取得特別会計

事務事業評価票 [対象：平成30年度]

事務事業				所管課		財政課											
借入金償還・利子支払事務事業				細事業		財政課関係事務事業											
開始年度	昭和 44 年度	事業の根拠	●	法令等（義務）	●	法令等（任意）		市例規	●	市要綱		総合ビジョン	●	計画		予算のみ	
施策	34 財政運営	取組方針	① 堅実な財政運営による財政規律の維持 ② より強固で弾力的な財政体質の確立 ③ 財源確保のための取組 ④ 統一的な基準による地方公会計の導入及び積極的な活用														
事業の対象	地方債の借入先	目的	① 堅実な財政運営による財政規律の維持 ② より強固で弾力的な財政体質の確立 ③ 財源確保のための取組 ④ 統一的な基準による地方公会計の導入及び積極的な活用 ⑤ 地方債の元利償還金の適正な執行管理を行う。														
事業概要	土地取得特別会計にて過去に借り入れた地方債の元金および利子の償還を行う。																
決算内訳 (単位：円)																	
歳出				歳入													
節	前年度	本年度	増減率	区分	説明				本年度								
23 償還金利子及び割引料	173,140,500	170,774,500	-1%	利用者負担													
				国													
				都													
				その他	史跡武蔵国分寺跡公園先行取得用地売却収入				170,774,500								
				一般財源													
合計	173,140,500	170,774,500	-1%	合計					170,774,500								
(概算) 人件費	正規職員	0.10 名	828,000	財源内訳													
	再任用職員	名		利用者負担	国	都	その他	一般財源									
	嘱託職員	名		%	%	%	%	%									
合計		828,000	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0										
成果	指標名(単位)	算式・出典	平成29年度	平成30年度(本年度)	平成31年度	令和2年度											
○	前年度末未償還額(円)	実績値	343,915,000	170,774,500													
○	償還額(円)	実績値	-173,140,500	-170,774,500													
○	年度末未償還額(円)	実績値	170,774,500	0													
類似事業	実施団体(課)			事業統合の可能性	協働事業の可能性		アウトソーシングの可能性										
	事業名			なし	困難		困難										
市民ニーズ・市民から寄せられた意見等																	
評価の視点	高い ← 低い					理由(評価の根拠・事業の成果・課題など)											
	5	4	3	2	1												
必要性	■	□	□	□	□	借り入れた地方債の元利償還金については、歳出予算に計上し執行する必要がある。											
有効性	□	□	■	□	□	元利償還金については、計画に基づき償還を行っている。											
効率性	□	■	□	□	□	年度ごとの償還額等については、起債システムにより管理している。											
今後の進め方																	
□	□	□	□	■													
5 拡大・拡充	4 現状維持	3 要改善	2 事業縮小	1 廃止・中止													
コメント	平成30年度をもって、土地取得特別会計にて先行取得した史跡武蔵国分寺跡公園用地の地方債の償還が完了した。																